

1. 件名：「東海第二発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(70)」

2. 日時：平成29年6月5日（月）13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁18階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：大浅田安全規制調整官、三井安全審査官、竹内安全審査官、永井安全審査官、岩崎係員、竹野技術参与

日本原子力発電：執行役員 他7名

5. 要旨

①日本原子力発電から、平成26年5月20日に申請のあった東海第二発電所の設置変更許可申請のうち、火山影響評価に対するコメント回答について説明があった。

②説明内容に対し、以下のとおり指摘した。

- ・敷地周辺で確認される降下火砕物の評価については、評価に関するまとめにもあるように敷地周辺の分布も含めて評価されていることを記載し、適正化をすること。
- ・降下火砕物シミュレーションにおいて、文献による層厚分布と合わせるために、対象とする降下火砕物を軽石のみとしているが、軽石のみで評価する考え方、本来は岩片に対応するパラメータ（拡散係数等）を変更しない考え方、それぞれについて説明すること。
- ・降下火砕物シミュレーションにおいて、パラメータ見直し前後での敷地での粒径加積曲線を提示すること。
- ・日本地球惑星科学連合2017大会において報告のあった白河付近での火砕流堆積物及びそれに伴う降下火砕物について、その内容を確認すること。

③日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

- ・ 東海第二発電所 地震等に係る新基準適合性審査に関するコメントリスト
- ・ 東海第二発電所 火山影響評価について（コメント回答）